



6.4 他大学図書館の利用方法

<他大学の図書館を利用するには>

名古屋女子大学の図書館に所蔵していない資料を、近くの大学図書館が所蔵している場合は、その大学図書館へ行って利用させてもらうことができます。ただし大学図書館同士の決まりで図書館が発行する「紹介状」が必要な大学もありますので、他大学図書館を利用する場合は必ず図書館カウンターで手続きをしてください。

利用できる条件

・所属する大学図書館に所蔵していない資料（図書・雑誌等）の利用

・利用するための条件は図書館によって異なります。図書館カウンターで確認してください。

手続きに必要なもの

図書館カウンターで手続きするときには、以下のことを伝えてください。

・利用する資料名(雑誌の場合は巻号も)

・利用したい大学図書館名

・利用日時

利用するときの注意

他大学図書館利用時の注意点です。

1. 学生証を必ず持参する
2. 利用する図書館へ到着したら、最初に図書館カウンターで学生証と紹介状を提示する
3. 利用する図書館の利用方針に従い、迷惑をかけないように図書館のマナーを守って利用する

訪問先の図書館でできること

多くの大学図書館では図書を閲覧することは可能です。また、コピーができるところもありますが、資料によってはコピーできない資料もあります。また、貸出しはほとんどの図書館でできません。

<一般公開されている大学図書館>

大学図書館によっては近隣の住民の方のために、一般公開しているところもあります。名古屋市内では以下の大学図書館が一般公開されています。**必要な資料を所蔵しているかどうか確認してから利用してください。(勉強するための利用は認められていません)**

・名古屋市立大学総合情報センター 山の畑分館/川澄分館/田辺通分館/北千種分館)

図書の貸出・・・不可 複写(コピー)・・・可能 現金コピー機あり)

その他詳細は Web サイト <http://www.cc.nagoya-cu.ac.jp/lib/index.html> 参照

・名古屋大学附属図書館 中央図書館)

図書の貸出・・・不可 複写(コピー)・・・可能 現金コピー機あり)

その他詳細は Web サイト <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/index.html> 参照

・名古屋工業大学附属図書館

図書の貸出・・・可能 登録時学生証必要 開架図書3冊 閉架図書2冊以内 2週間以内)

複写(コピー)・・・可能 現金コピー機あり)

その他詳細は Web サイト <http://www.lib.nitech.ac.jp/gakugai/index.html> 参照

・愛知大学車道図書館

図書の貸出・・・不可 複写(コピー)・・・可能

その他詳細は Web サイト <http://library.aichi-u.ac.jp/> 参照

・名城大学附属図書館

図書の貸出・・・不可 複写(コピー)・・・可能

その他詳細は Web サイト <http://tosho.meijo-u.ac.jp/index.html> 参照

・金城学院大学図書館

図書の貸出・・・可能 登録時学生証必要 5冊以内 1ヵ月以内) 複写(コピー)・・・可能

その他詳細は Web サイト <http://opc.kinjo-u.ac.jp/2006ToGakugai.htm> 参照

・中京大学図書館

図書の貸出・・・可能 登録時学生証必要 5冊以内 2週間以内) 複写(コピー)・・・可能 現金コピー機あり)

その他詳細は Web サイト <http://www.chukyo-u.ac.jp/tosho/> 参照

・南山大学名古屋図書館

図書の貸出・・・可能 登録時学生証必要 5冊以内 2週間以内) 複写(コピー)・・・可能 現金コピー機あり)

その他詳細は Web サイト <http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/> 参照

瀬戸図書館も同様に利用できます

・愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター

図書の貸出・・・名古屋市千種区在住の場合は可能(登録時身分証明書必要 3冊以内 2週間以内)

複写(コピー)・・・可能

その他詳細は Web サイト <http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/riyou/riyou1-3.html> 参照

・大同大学図書館

図書の貸出・・・可能 登録時身分証明書必要 3冊以内 7日まで) 複写(コピー)・・・可能 現金コピー機あり)

その他詳細は Web サイト <http://lis.daido-it.ac.jp/library/opac/index.html> 参照

関連情報

* 資料の所蔵を確認しましょう ➡ 「5.1 WebcatPlus を使おう」参照

* 他の図書館の図書を取り寄せることができます ➡ 「6.3 他の図書館の本を借りるには？（相互貸借の依頼方法）」参照